

17. 副腎腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
								治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	腎泌尿器外科	8	2	状況	○	○	転移性副腎がんに対しても腹腔鏡手術を行っています。	ア	腎泌尿器外科 http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku14.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	あり	あり		なし	イ	http://		
2	放射線科	2	0	状況	×	×	超高压X線治療機器2台を整備し、CTによる治療計画を行い、放射線治療の対象となるあらゆる種類の悪性腫瘍に対して、副作用が少なく局所制御が高い治療を目指しています。	ア	http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku17.html	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし		なし	イ	http://		
3				状況				ア	http://			
				実績					イ	http://		
4				状況				ア	http://			
				実績					イ	http://		
5				状況				ア	http://			
				実績					イ	http://		

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 褐色細胞腫、副腎皮質がん
	悪性褐色細胞腫、副腎皮質がん